

株主の皆様へ



株主の皆様におかれましては、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第124期第2四半期連結累計期間(2022年12月1日～2023年5月31日)におけるわが国経済は、エネルギーや物価の高騰、供給面での制約、金融資本市場の変動

等の影響により厳しい状況が継続しております。海外経済も金融引締めや物価高騰を背景として景気が下振れしており、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの経済活動にもエネルギーや物価の高騰の影響が顕在化しております。

第124期第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は133億89百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は3億21百万円(前年同期比16.4%減)、経常利益は5億47百万円(前年同期比23.8%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、投資有価証券売却益や退職給付信託返還益等により10億10百万円(前年同期比31.6%増)となりました。

2023年度～2025年度の新中期経営計画がスタートしております。重点課題である収益力の回復、ESG経営への取組と積極的な開示、個人の自律意識の向上に努めてまいります。

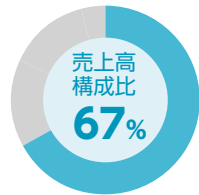
株主の皆様におかれましては、今後とも変わらず格別のご支援とご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2023年7月

代表取締役社長 名倉 宏之

セグメントの状況

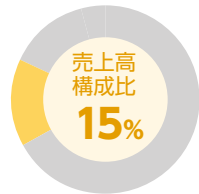
産業用機能フィルター・コンベア事業



売上高 90億53百万円 (前年同期比 0.8%増)
営業利益 5億1百万円 (前年同期比 4.5%増)

その他産業用フィルター・コンベア分野での販売増加や円安の影響等により、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

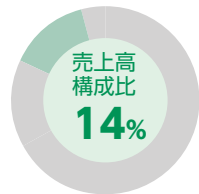
電子部材・フォトマスク事業



売上高 19億63百万円 (前年同期比 4.8%増)
営業利益 91百万円 (前年同期比47.2%減)

売上高は増加したものの、電力料高騰の影響やフォトマスク製品分野での製造経費の増加により営業利益は減少しました。

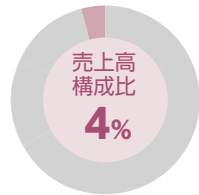
環境・水処理関連事業



売上高 18億55百万円 (前年同期比85.1%増)
営業利益 22百万円 (前年同期営業損失4百万円)

複数の大型案件の工事が進捗したため売上高は前年同期比大幅増となり、資材価格や工事費の高騰があったものの営業利益を計上しました。

不動産賃貸事業



売上高 5億17百万円 (前年同期比 0.0%増)
営業利益 3億96百万円 (前年同期比 3.8%増)

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、売上高・営業利益ともに前年同期に比べ増加しました。

日本フィルコンのサステナビリティ



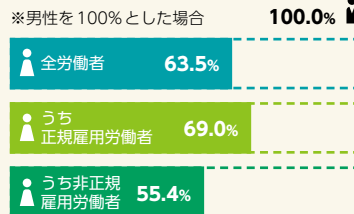
ジェンダー不平等への取り組み～女性活躍推進～



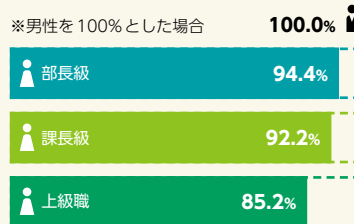
当社では、従業員全員が働きやすい環境を作ることで、全従業員が持っている能力を十二分に発揮できるようにし、また女性が管理職として活躍できる雇用環境の整備を行うための取り組みを行っております。2024年11月末の女性管理職比率5%を目標とし、直近(2023年3月1日現在)の状況は、8.3%となりました。引き続き、女性管理職比率の引き上げに向け、右記の取り組みを継続してまいります。

また、当社では男女間の賃金の差異実績、その要因、それに対する取り組みを公表しております。

男女間の賃金の差異実績



管理職および上級職における男女間の賃金の差異実績



・対象期間：2022年度(2021年12月1日から2022年11月30日まで)
・正規雇用労働者：執行役員、正社員(管理職・一般職)
・非正規雇用労働者：契約社員(月給・時給)、パートタイマー、嘱託社員、顧問

なお、男女の処遇に差は設けておらず、管理職および管理職候補者である上級職における男女の賃金差異は左記のとおりです。
非正規雇用労働者の男女の賃金差異の要因は、非正規雇用労働者には定年退職後の嘱託社員や社内役員退任後に就任する顧問の中に、女性が少ないことが挙げられます。

当社は、「100年超え企業として、次の100年も社会が必要とする製品・サービスを生み出し続ける企業集団」という、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に向けたグループ長期ビジョンを掲げ、事業を通じ持続可能な社会の実現に向けた様々な取り組みを行っております。今回はその取り組みの中から、「ジェンダー不平等への取り組み～女性活躍推進～」と「地球温暖化への取り組み」をご紹介します。

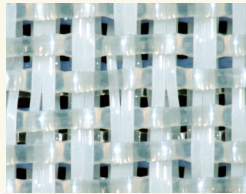


地球温暖化への取り組み



当社では、皆さんの身近にある「紙」を作る際に用いられる「抄紙網(ワイヤー)」を製造しております。その中でも地球温暖化への取り組みとして、環境配慮型製品「eco仕様抄紙網」の製造を行っております。eco仕様抄紙網は、機械駆動時の摩擦・接触抵抗を低減することが可能になり、お取引先の製紙会社において従来品と比較した際に、機械駆動時の負荷を10%～20%低減させ、エネルギー(電力)とCO₂の削減に貢献しております。

このeco仕様抄紙網は国内では80反、世界では149反の導入実績があり、現在は主に段ボール等の板紙を製造するマシンで使用されていますが、洋紙を製造するマシンでも使用され始めており、引き続きこの事業を通じ、省エネと地球温暖化対策への貢献を目指してまいります。



当社は、そのほかにも様々なサステナビリティへの取り組みを行っております。その他取り組みについては、当社HPのサステナビリティページをご覧ください。
<https://www.filcon.co.jp/sustainability/index.html>



国連グローバル・コンパクト参加のお知らせ

当社は、国際連合が提唱する「国連グローバル・コンパクト(以下 UNGC)」に署名し、2022年11月17日付で参加いたしました。

UNGCとは、国連と民間(企業・団体)が手を結び、健全なグローバル社会を築くための世界最大のサステナビリティイニシアティブです。当社は、UNGCが掲げる人権の保護、不当な労働の排除、環境への対応、そして腐敗防止に関わる10の原則を支持し、引き続き事業を通じての社会貢献に努めてまいります。

国連グローバル・コンパクトとは
<https://www.ungcn.org/>



株主様アンケート報告

2023年2月から3月にかけて実施した株主様アンケートでは、多くの株主の皆様からご回答を頂きました。皆様のご協力に感謝を申し上げますとともに、頂いた貴重なご意見を活かし、IR活動のさらなる充実に努めてまいります。



環境に配慮した製品を作ってください。

当社では、今回トピックスでご紹介したeco仕様抄紙網のほか、太陽光から発電したクリーンな電力で水を電気分解して水素を作り、災害時の発電・給水に利用可能な自立型災害用過装置「HydroX®」を取り扱っております。
また、当社グループの(株)アクアプロダクトでは、プール用過装置をはじめとする各種ろ過装置を取り扱っており、環境保全や社会の安全に貢献しております。

詳細は、当社HP(<https://www.filcon.co.jp>)をご覧ください。



株主通信の内容が分かりやすく、毎回楽しみにしています。

ご評価いただきありがとうございます。
株主通信は、株主様に当社事業内容等をご理解いただく重要なツールと考えております。
引き続き、分かりやすく読みやすい内容となるよう努めてまいります。



連結貸借対照表

	当第2四半期末 2023年5月31日現在	前期末 2022年11月30日現在
流動資産	20,604	20,432
固定資産	21,258	23,045
負債	19,263	20,754
純資産①	22,598	22,723
総資産	41,862	43,478

(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

	当第2四半期 (2022年12月1日から 2023年5月31日まで)	前第2四半期 (2021年12月1日から 2022年5月31日まで)
売上高②	13,389	12,375
売上総利益	4,462	4,313
営業利益③	321	384
経常利益	547	718
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,010	767

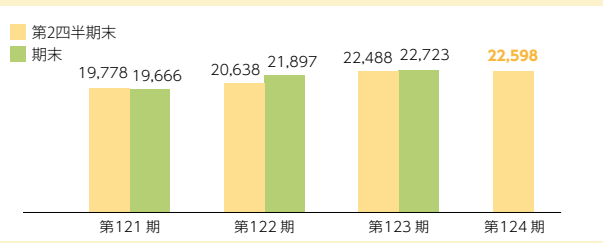
(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

	当第2四半期 (2022年12月1日から 2023年5月31日まで)	前第2四半期 (2021年12月1日から 2022年5月31日まで)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,282	305
投資活動による キャッシュ・フロー	△196	△339
財務活動による キャッシュ・フロー	△1,005	△548
現金及び現金同等物の 四半期末残高	4,783	3,918

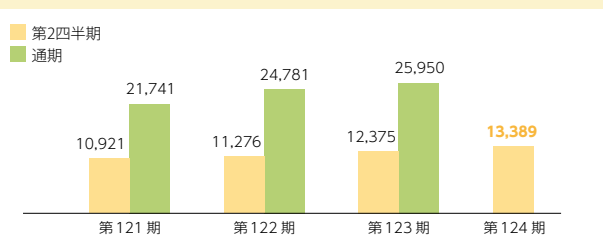
(注) 記載金額は、百万円未満の数字を切り捨てて表示しております。

① 純資産



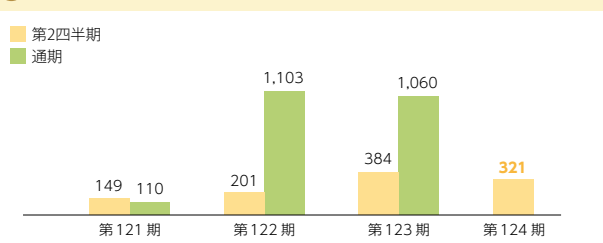
POINT 純資産合計は、前期末に比べて1億24百万円減少し、225億98百万円となりました。これは主として、自己株式の増加によるものであります。

② 売上高



POINT 環境・水処理関連事業における大型案件の工事の進捗等により、売上高は133億89百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

③ 営業利益



POINT 電子部材・フォトマスク事業における製造経費の増加等により、営業利益は3億21百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

商号 日本フィルコン株式会社
本店所在地 東京都稲城市大丸2220番地
TEL 042(377)5711(代表) FAX 042(377)5714
設立年月日 1936年3月18日(創業1916年)
資本金 26億85百万円
上場取引所 東京証券取引所(スタンダード市場)
ホームページ <https://www.filcon.co.jp/>

主要な製造、販売品目

紙・パルプ抄造用網、各種工業用特殊網等／エッチング加工製品、フォトマスク製品等／プール本体および水処理装置、その他環境関連製品等／店舗・駐車場の賃貸等

主要な事業所等

当社の主要な事業所
本社・東京事業所(東京都稲城市) 静岡事業所(静岡県富士市)
北海道営業所(北海道千歳市) 大阪営業所(大阪府大阪市)
上海事務所(中国 上海市)

子会社
Filcon America, Inc. (アメリカ オレゴン州)
FILCON FABRICS & TECHNOLOGY CO., LTD. (タイ プラチンブリ県)
FILCON EUROPE SARL (フランス パ・ラン県)
斉藤特殊金網株式会社(本社: 東京都江東区)
関西金網株式会社(本社: 大阪府大阪市)
Kansai U.S.A. Corporation (アメリカ テキサス州)
Siam Wire Netting Co., Ltd. (タイ ランプーン県)
TMA CORPORATION PTY LTD (オーストラリア 西オーストラリア州)
関西金属網科技(昆山)有限公司(中国 江蘇省)
エスデアイ・エレクトロニクス・ジャパン株式会社(本社: 東京都稲城市)
株式会社アクアプロダクト(本社: 東京都稲城市)
フジカ濾水機株式会社(本社: 東京都豊島区)

当社従業員数464名 企業グループ従業員数1,320名

取締役・監査役

代表取締役社長	名倉 宏之	常勤監査役	青木 豊
専務取締役	齋藤 芳治	社外監査役	佐々木 章浩
取締役	佐野 明宣	社外監査役	木村 尚子
取締役	野村 国大		
社外取締役	片山 洋一		
社外取締役	有賀 弘備		

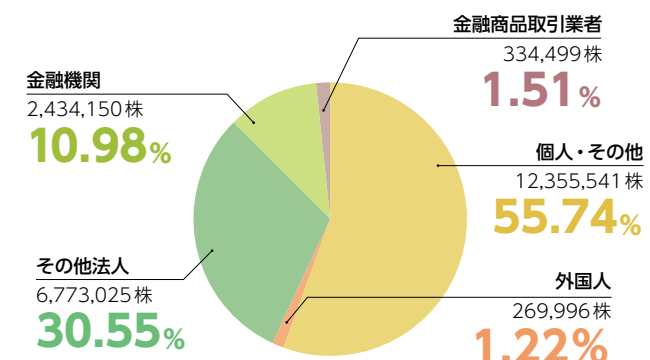
発行可能株式総数	80,000,000 株
発行済株式の総数	22,167,211 株
株主数	22,680 名

大株主

株主名	持株数(百株)	持株比率(%)
王子ホールディングス株式会社	27,001	13.23
大王製紙株式会社	18,165	8.90
日本フィルコングループ従業員持株会	15,451	7.57
日本製紙株式会社	14,023	6.87
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,483	4.65
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,688	2.30
第一生命保険株式会社	3,950	1.93
竹田昌弘	3,840	1.88
日本フェルト株式会社	3,000	1.47
明治安田生命保険相互会社	2,004	0.98

(注) 1. 当社は、自己株式1,752,126株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。
2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。
3. 持株数は百株未満は切り捨て、持株比率は小数点第3位を四捨五入して表示しております。

所有者別持株比率



株主メモ	
事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
配当金の基準日	期末配当金: 11月30日 中間配当金: 5月31日
定時株主総会	毎年2月
議決権の基準日	定時株主総会: 11月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定める。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711 (フリーダイヤル)
同郵送先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により、当社のホームページ https://www.filcon.co.jp/ に掲載いたします。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株式に関するお問合せ先

証券会社にお持ちの場合

お問合せ先	お取引の証券会社になります。
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、株主名簿管理人までお問合せください。

特別口座の場合

お問合せ先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電 話 0120-232-711 (フリーダイヤル) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
ご注意	単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。(特別口座に記録したままでは、株式を証券取引所で売買することはできません。)

株主優待制度 毎年11月末現在、100株(1単元)以上を1年以上継続保有の株主様へ

1. 優待内容

保有株式数	保有期間／優待内容
100株以上200株未満	1年未満／なし 1年以上継続／500円相当のQUOカード
200株以上1,000株未満	1年未満／なし 1年以上継続／ワイン1本
1,000株以上	1年未満／なし 1年以上継続／ワイン1本(限定品)

2. 贈呈の時期

- QUOカード: 毎年2月下旬の定時株主総会終了後の「定時株主総会決議ご通知」および「株主通信」とともにお送りする予定です。
- ワイン: 毎年3月下旬にお送りする予定です。ワイン贈呈の時期に変更が生じる場合は、当社のホームページでお知らせします。

(注) 100株(1単元)以上を1年以上継続保有とは、同じ株主番号で、5月31日現在および11月30日現在の株主名簿に100株以上の保有が3回以上連続で記載または記録されることをいいます。

